

トップレベルの技術を証明

I-NAIL-A ネイルスペシャリスト 技能検定試験

試験構成

ネイルスペシャリスト A 級 / AA 級 / AAA 級

受験資格

義務教育修了者（未修了者は保護者の承諾書を提出）
飛び級有り（A 級の認定が無い場合でも AA 級 / AAA 級を受験できます）

認定基準

各級それぞれ実技試験と学科試験の合格で認定

受験料

A 級 11,000 円 (8,800 円) / AA 級 13,200 円 (11,000 円) / AAA 級 16,500 円 (14,300 円)

*表記価格は全て税込となります。

* () は 1 年以内に再受験し、実技試験/学科試験のいずれかのみ受験の場合(実技試験の免除期間は1年以内とする。)

学科試験 | 時間30分マークシート方式

【合格基準】 出題 50 問（1 問 2 点）のうち 40 問以上正解（80 点以上）で合格とする。

【内 容】 ネイルの衛生学/人体のしくみ/ネイルとその異常/マニキュアリストの化学/ネイル概論/ネイルの技術

【参考テキスト】 『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナルジェルネイル編』『検定試験対応例題集』

●受験者は筆記用具（鉛筆・消しゴム）を必ず持参すること。筆記用具を忘れた場合は失格となります。試験中の貸し借りは禁止。試験会場での貸し出しは行いません。

●ネイルスペシャリスト・ジェルネイル検定試験のいずれかの級で学科合格していれば他級の受験の際は免除となります。（免除期間の制限なし）

実技試験

A 級
65 分

テーブルセッティング / 10分
*同時にモデルチェックを行います。

ネイルケア / 30分 ▷ 審査

カラーリング(両手マット赤) / 25分 ▷ 審査

AA 級
85 分

テーブルセッティング / 10分
*同時にモデルチェックを行います。

ネイルケア / 25分 ▷ 審査

アーティフィシャルネイル前半 / 15分 ▷ 審査
右手:ネイルチップ・スカルプチュアのアプリケーション各1本

アーティフィシャルネイル後半 / 10分 ▷ 審査
アーティフィシャルネイル前半の仕上げ

カラーリング / 25分 ▷ 審査
(左手マット赤: 右手パールホワイト)

AAA 級
85 分

テーブルセッティング / 10分
*同時にモデルチェックを行います。

ネイルケア / 20分 ▷ 審査

アーティフィシャルネイル前半 / 20分 ▷ 審査
右手:チップオーバーレイ・スカルプチュア
・フレンチスカルプチュアのアプリケーション各1本

アーティフィシャルネイル後半 / 15分 ▷ 審査
アーティフィシャルネイル前半の仕上げ

カラーリング / 20分 ▷ 審査
(両手パールホワイト)

【合格基準】 各級とも（80 点以上）で合格とする。

●試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。
●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。

【内 容】 各級「各工程の詳細」に記載。

●受験者は、使用する器具/材料を必ず持参すること。忘れた場合は失格となります。試験会場での貸し出しは行いません。

注意事項

***以下の事項が守られていない場合は失格または減点となります。**

試験全般に関する事項

- 受験者およびモデルが受付時間内に受付できなかった場合は、受験可能ですが、失格となります。
- 受験票を忘れた場合は運営上支障が無い限り受験可能ですが、失格となります。
- 不正行為（カンニング等）は失格となります。
 - 実技試験において、試験要項や手順等が記載されたものを試験中に見た場合。
 - 実技試験において、モデルが試験内容に関する指示や指導を行っていた場合。
 - 学科試験において、テキスト類や、他の受験者の解答を見ていた場合。
- 試験中、他の受験者に迷惑が及ぶ言動が見受けられた場合や、試験官の指示に従わなかった場合は失格とし、試験会場から出ていただきます。
- 実技試験において、各工程終了アナウンス後にモデルの手指および爪に触れたり技術を行った場合は失格となります。
- 試験中、受験者およびモデルは携帯電話等の音の鳴る機器類の電源は切ること。
(時計、アラーム類については消音しておくこと。)
- 試験中、受験者およびモデルが離席する場合は、試験官の指示に従うこと。
 - 実技試験中に離席した場合は、手指消毒を行った後技術を再開してください。

実技試験に関する事項

受験者 / モデル共通事項

- 公衆衛生上不適切とみなされる皮膚への装飾（刺青、タトゥー、ボディアート等）が肘から先（指先まで）に露出しないように配慮すること。
- 肘から先（指先まで）に装飾品類（時計・アクセサリー等）を着用してないこと。

受験者に関する事項

- 白衣に準じた衛生的な白無地の上着を着用すること。
 - 技術に支障のあるフリルやリボン等の装飾が施されたものや、技術者として相応しくないとと思われる過度な露出のあるものは着用しないこと。
- 頭髪は清潔感のあるスタイルを心がけ、技術に影響しないようまとめること。受験者およびモデルの手指、器具 / 材料に触れないこと。
- 不織布マスクを着用すること。（モデルは任意）

モデルに関する事項

- 手指および爪に施術を行えない疾患の疑いがある場合は失格となります。『ネイル・プロフェッショナル』参照。
- ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること。
- ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと。
- 原則としてナチュラルネイルであること。
 - 爪の亀裂については、ネイルグルー、レジンをういたリペアのみ本数を限定せずに可とする。
 - ラップ、アクリル、ジェルを用いたリペアは不可。

衛生に関する事項

●技術全般

- 技術者は、自分の手指や爪ではみ出したグルーやポリッシュなどのクリーンを行わないこと。
- 技術者は、自分の手指や爪で器具類の汚れを拭くなどしないこと。
- 試験中、作業エリア、サニタリーエリアは常に衛生的な状態を保つこと。（敷いたペーパータオルが汚れた場合は随時交換すること。）

●器具 / 材料を落とした場合の処置

- 器具 / 材料を落とした場合は、放置せずにペーパータオルで挟んで拾い破棄し、手指を消毒してから技術を再開すること。
- 破棄できないものは器具用消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。

●材料をこぼした場合の処置

- 放置せず、ペーパータオルで拭くなど直ちに処置し、手指消毒してから技術を再開すること。
- テーブルを汚してしまった場合は、試験終了後に試験官に申し出ること。

●出血が生じた場合の処置

- 受験者、モデルに出血が生じた場合は放置せず、救急用具を用いて傷を消毒し、必要であれば止血する処置を行うこと。
- 止血ができていないとみなされた場合は失格となります。
- 出血に起因した器具 / 材料は消毒後、破棄またはセッティングすること。出血の処置後は、手指消毒をしてから技術を再開すること。

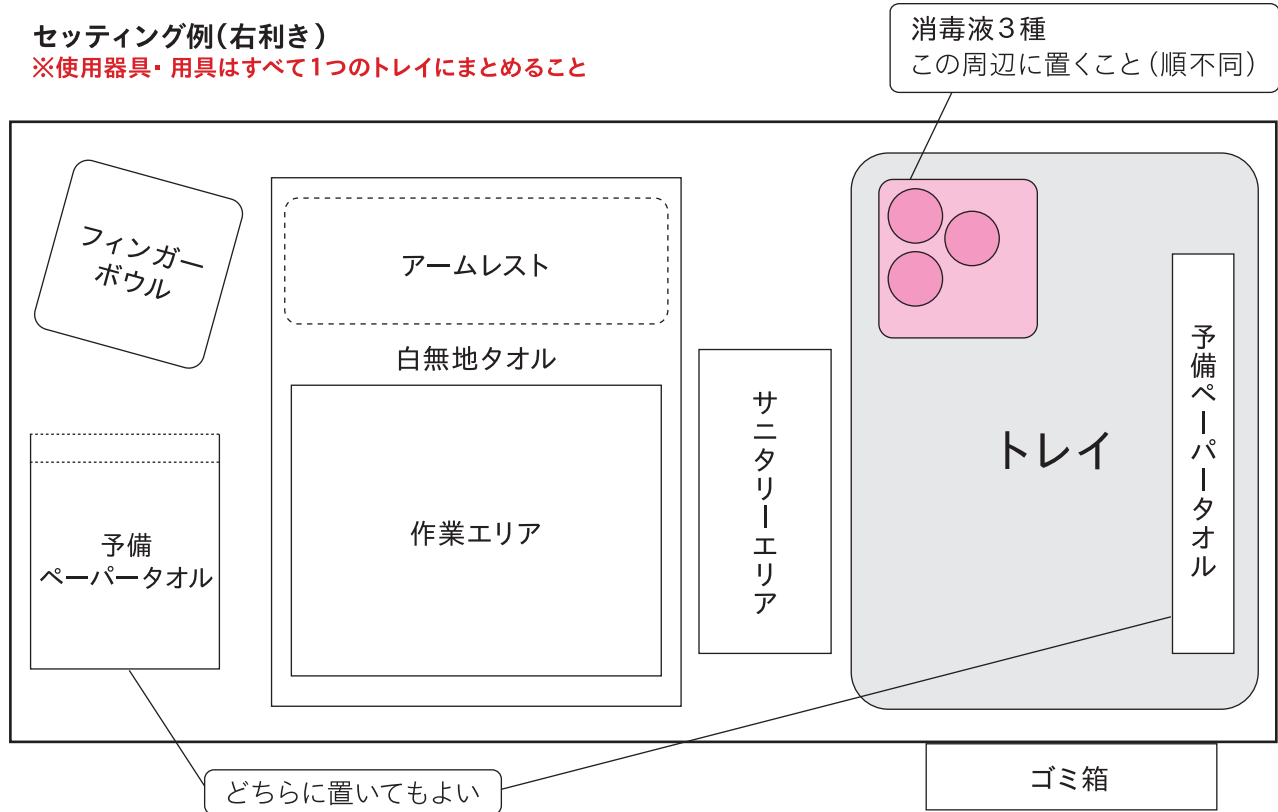
●試験中に使用する器具 / 材料類の汚れの処置

- 器具 / 材料の汚れは、衛生的に管理されたペーパータオル類で拭くこと。
- 汚れを拭くペーパータオルは作業エリアに置くこと。（サニタリーエリアに置くことは不可。）
- 汚れを拭くペーパータオルは必要な分のみ取り出し、衛生的に使用すること。

テーブルセッティング例

(右利きの例)

下図に従ってテーブルセッティングを行って下さい。以下の事項が守れていない場合は減点となります。



- テーブルの中央に白無地タオルを敷き、利き手側にゴミ袋(ジッパー付ビニール袋)をセッティングすること。
 - 3本の消毒液はトレイ内側周辺に置く。(順不同)
 - アームレストは白無地タオルで覆うこと。
 - 器具/材料は1つのトレイにのせ、利き手側にセッティングすること。
 - 照明機器のセッティングはしないこと。
 - 試験時間を管理するための時計は作業、及び衛生的に妨げのない場所に置くこと。
 - 作業エリア/サニタリーエリアとして白無地ペーパータオルを敷くこと。(重ね敷きをしない)
- 役割を理解し、適切に使い分けをすること。
- * 作業エリア=作業を行うスペース
 - * サニタリーエリア=器具/材料を置く衛生的なスペース
 - ・ 作業エリアとサニタリーエリアは区別すること
 - ・ 各工程終了時に新しいペーパータオルに交換すること(試験中も汚れた場合は適宜交換すること)

使用する器具 / 材料のセッティング、取り扱いについて

*以下の事項が守られていない場合は減点となります。

★セッティングする全ての器具/材料は汚れていない衛生的なものとし、試験中も衛生的に取り扱うこと。

A級	AA級	AAA級	使用する器具/材料
●	●	●	手指消毒液 ※薬品名と濃度を記載(受験票に記載) 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置にセッティング 手指用消毒液は、速乾性撥水消毒液または消毒用エタノール等を使用
●	●	●	器具用消毒液 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置にセッティング 器具用消毒液は、消毒用エタノールを使用
●	●	●	救急用具 受験者およびモデルの手指を傷つけた場合に使用 傷用消毒液、消毒液を塗布する綿棒、止血用絆創膏を1つのジッパー付きビニール袋にまとめ、救急用具と表記したラベルを貼る
●	●	●	コットン(白無地) 蓋付容器またはジッパー付きビニール袋に入れる(汚れをとる際に使用するペーパータオルをコットン容器にセッティングして可) 取り出すとき以外は蓋をし(密閉)、ダストがつかないようにする 一度取り出したコットンを容器に戻さない 試験中は作業エリアで使用し、不衛生な(使用後や容器から一度取り出した)コットンを放置しない
●	●	●	ウエットステライザー 器具用消毒液を入れても変色、変質しない器、容器(ガラス、ステンレス等) テーブルセッティングの時間内に準備すること 容器の底にコットン(白無地)敷き、器具の消毒すべき箇所(キューティクルニッパーの先など)が浸かる程度に器具用消毒液を入れる 刃先保護用のステライザーパット等を使用する場合でも、パットの上にコットン(白無地)を敷く 試験中もウエットステライザーの消毒液が足りているように配慮する
●	●	●	キューティクルリムーバー キューティクルリムーバーの容器などが直接皮膚・爪に触れないこと
●	●	●	ベースコート (リジファイラー入りベースコート可、ベースコート後リジファイラー使用可) カラーポリッシュ A級:マット赤 / AA級:マット赤・白パール / AAA級:白パール トップコート ベースコート・カラーポリッシュ・トップコートの取り扱い キャップ(刷毛)は必ず蓋をする 刷毛の汚れは、汚れを拭くためのペーパータオルを用いて作業エリアで拭く(ウッドスティックに付着したポリッシュを拭く場合も同様)
●	●	●	ポリッシュリムーバー プッシャー ※ネイルマシンを使用する場合、本体は衛生的な場所にセッティングし扱うこと ネイルマシンのプッシャー・メタルプッシャーのみ ※ケアビット不可 ネイルマシンのアタッチメント用に小さなウエットステライザーをセッティングしてもよい(ラベルを貼ること)
○	○	○	キューティクルニッパー ツイザー
●	●	●	シザー/クリッパー/チップカッター ※3つのうち必要なもの
●	●	●	ファイル類(エメリーボード等) /パフファー/シャイナー グリッドや形状に指定はないが、用途に適したグリッド、形状のものを使用すること
●	●	●	ウッドスティック ダストなどの汚れが付かない場所にセッティングする コットンを巻かず使用、巻いて使用どちらでもよい コットンを巻いた使用中のウッドスティックをトレイやサニタリーエリア、作業エリアに置かない 使用後のウッドスティックに巻いたコットンは素手で取らず、ペーパータオル(コットンまたはペーパータオルの袋にセッティングしたもの)で取ること
●	●	●	ダスト用ブラシ
●	●	●	ガーゼ(白無地) ジッパー付きビニール袋に入れトレイにセッティング、ペーパーガーゼ使用可 使用中のガーゼはサニタリーエリアに置く、またはジッパー付きビニール袋に入れトレイに戻す
●	●	●	ペーパータオル(白無地) ジッパー付きビニール袋に入れる。トレイの中、またはトレイの逆側(テーブルの上)にセッティングする 取り出すとき以外は密封する(一度取り出したペーパータオルは戻さない) 各工程の終了時には使用したすべてのペーパータオルを交換する 汚れを拭くためのペーパータオルはコットン容器、またはジッパー付きビニール袋のどちらかにセッティングする
●	●	●	ゴミ袋(中身が見えるジッパー付きビニール袋)
●	●	●	ゴミ袋を固定するテープ
●	●	●	タオル(白無地)
●	●	●	フィンガーボール フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備する
●	●	●	水 / お湯(ネイルケア用) お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしてもよい、適宜温度調整等すること
●	●	●	アームレスト(タオルでも可) ※セッティング例を参照 アームレストはタオル(白無地)で覆うこと
●	●	●	トレイ ※器具 / 材料は1つのトレイにまとめること セッティングした容器などが倒れた場合でも溶剤がトレイから漏れないような素材、大きさ(深さ)のもの
●	●	●	爪用消毒液 (例: エタノール/プレプライマー/プレップ)
●	○	○	ネイルグルー プライマー(使用しても可)
●	●	●	アクリルリキッド ※蓋付ダッペンディッシュに入れた状態でトレイにセッティングしてよい アクリルリキッドをダッペンディッシュに入れる場合は、アーティフィシャルネイルの時間内に行う(テーブルセッティングの時間内に行うことは不可)
●	●	●	ダッペンディッシュ
●	●	●	アクリルパウダー AA級:クリア / AAA級:クリア・ホワイト
●	●	●	ネイルチップ(事前の加工は不可) ナチュラル
●	●	●	ネイルフォーム(事前の加工は不可)
●	●	●	スカルブチュアブラシ 試験中ブラシの先が他の器具/材料に触れないよう、ダストがつかないように配慮し衛生的に取り扱う トレイに置く場合は、ブラシの先が他の器具/材料に触れないよう、セッティングする位置やキャップをつけるなど配慮する サニタリーエリアに置く場合は、ブラシ置きを用いるなど、ブラシの先がペーパータオルに直接触れないようにする ブラシは、汚れを拭くためのペーパータオルを用いて作業エリアで拭く サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで拭かない
○	○	○	時間を管理するタイマー(時計類も含む) 携帯電話などの通信機器は不可 作業エリア・サニタリーエリア以外の場所で、衛生的で試験の妨げにならないところに置く

赤字・青字の内容が守られていない場合は減点 ●がセッティングされていない場合は減点

※赤字のものは、内容を明記したラベルを貼る ※青字のものは、ウエットステライザーにセッティングする

※記載されていない器具/材料はなるべくセッティングしない ※●はセッティングするもの、○は必要に応じてセッティングするもの

※材料が重複する場合は、1つの容器(材料)に複数ラベルを貼付すること ※試験中ラベルが見えにくい場合など試験官が確認することがあります

A級実技試験

受験対象	ネイルの基礎知識および衛生について理解し習得している方、ネイル初心者、スクール生対象
------	--------------------------------------------

事前モデルチェック項目	<ul style="list-style-type: none"> ①ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと ②フリーエッジの長さは指定しないが、エッジが塗れる長さであること ④ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること ⑤原則としてナチュラルネイルであること <u>*爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可</u> <p>* ネイルグルー、レジンを用いたりリペアは本数を限定せずに可、リペアが不適切な場合は減点 * ラップ、アクリル、ジェルを用いたりリペアは失格</p>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

試験内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 33%;"> テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分-</td> <td style="text-align: center; width: 33%; border: none;">→</td> <td style="text-align: center; width: 33%;"> ネイルケア (両手) -30分-</td> <td style="text-align: center; width: 33%; border: none;">→</td> <td style="text-align: center;"> カラーリング マット赤10本(両手) -25分-</td> </tr> </table>	テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分-	→	ネイルケア (両手) -30分-	→	カラーリング マット赤10本(両手) -25分-
テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分-	→	ネイルケア (両手) -30分-	→	カラーリング マット赤10本(両手) -25分-		

試験内容詳細/注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ※ 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること ※ 実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること ※ 別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

チェックポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。 ● 使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。
ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> ● フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと(フリーエッジ裏も含む) ● 爪の表面が滑らかで傷などがなく、バッフィングによるダストが残っていないこと ● 過度なバッフィングで爪を薄くしていないこと ● キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと ● 甘皮が起きていること ● ルーススキンが除去されていること ● ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと ● フリーエッジの長さや形のバランスが揃っていること ● フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、仕上がり10本の形は統一すること
カラーリング	<ul style="list-style-type: none"> ● エッジの塗り残しがないこと ● キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること ● サイドの塗り残しがないこと ● 表面に色ムラや刷毛あとがないこと ● 皮膚にポリッシュ類がついていないこと

テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
 - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
 - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
 - ・セッティング場所はセッティング例を参照
 - ・時間外にセッティングを行った場合は減点
(セッティング時間外に鞆から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行ってください)
 - ・ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行う
 - ・ネイルマシンを使用する場合は、テーブルセッティング時間内に電源を確認する
 - ・フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備し、適宜温度調整を行う
 - ・お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしても良い

ネイルケア(30分)

- ① 手指用消毒液を含ませたコットン(白無地)を用いて、受験者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
 - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② ファイル類(エメリーボード等)を用いて、フリーエッジの長さとしを整える。
 - ・フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さとしは10本バランスよく揃える
 - ・フリーエッジの長さは、エッジが塗れる長さに削る
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- ④ プッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。
 - ・ネイルマシンのプッシャーまたはメタルプッシャーを使用
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれ、爪の表面、フリーエッジの裏の汚れを除去する。
- ⑥ バッファーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。
- ⑦ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

カラーリング/マット赤
(25分)

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバー(爪用消毒液でも可)で拭く。
- ② 爪のエッジと表面にベースコート塗布する。
- ③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ塗布する。(1回目)
- ④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ塗布する。(2回目)
- ⑤ 爪のエッジと表面にトップコート塗布する。
 - ・皮膚についたポリッシュ類のクリーンは随時行う

審査

実技試験終了

AA級実技試験

受験対象	ネイルケア及びアーティフィシャルネイルの基礎知識と技術を習得し、サロンワークを目指す方				
事前モデルチェック項目	<ul style="list-style-type: none"> ① ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと ② フリーエッジが、手のひら側から見て指先(ハイポニキウムを含む)から3mm程度以上あること アーティフィシャルネイルを施す爪は3mm以下で可 試験開始前までに1mm以下に削っておいてもよい※ネイルケア終了までには1mm以下に削ること ④ ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること ⑤ 原則としてナチュラルネイルであること *爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可 *ネイルグルー、レジンをういたリペアは本数を限定せず可、リペアが不適切な場合は減点 *ラップ、アクリル、ジェルを用いたリペアは失格 				
試験内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;"> テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分- </td> <td style="text-align: center; width: 25%;"> ネイルケア (両手) -25分- </td> <td style="text-align: center; width: 25%;"> アーティフィシャルネイル ネイルチップ 1本 スカルプチュア 1本 (右手:指の指定なし) -25分- </td> <td style="text-align: center; width: 25%;"> カラーリング 左手/マット赤 5本 右手/パールホワイト 5本 -25分- </td> </tr> </table>	テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分-	ネイルケア (両手) -25分-	アーティフィシャルネイル ネイルチップ 1本 スカルプチュア 1本 (右手:指の指定なし) -25分-	カラーリング 左手/マット赤 5本 右手/パールホワイト 5本 -25分-
テーブルセッティング 事前モデルチェック -10分-	ネイルケア (両手) -25分-	アーティフィシャルネイル ネイルチップ 1本 スカルプチュア 1本 (右手:指の指定なし) -25分-	カラーリング 左手/マット赤 5本 右手/パールホワイト 5本 -25分-		
試験内容詳細/注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ※ 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること ※ 実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること ※ 別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること 				

チェックポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。 ● 使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。
ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> ● フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと(フリーエッジ裏も含む) ● 爪の表面が滑らかで傷などがなく、バッフィングによるダストが残っていないこと ● 過度なバッフィングで爪を薄くしていないこと ● キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと ● 甘皮が起きていること ● ルーススキンが除去されていること ● ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと ● フリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から(ハイポニキウムを含む)3mm程度以上 (アーティフィシャルネイルを施す爪のみ1mm程度以下) ● フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、8本の形は統一すること
アーティフィシャルネイル 前半	<ul style="list-style-type: none"> ● ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと ● ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと ● ネイルチップの裏や皮膚にネイルグルーがついていないこと ● ストレスポイントがネイルチップで覆われ、欠けていないこと ● キューティクルラインが空きすぎず、段差がなく滑らかなこと ● ナチュラルネイルにあったフォルム(形/角度/カーブ)であること ● 仕上がりに近い長さで厚みであること ● 表面が滑らかであること ● キューティクルや皮膚にアクリルがついていないこと ● フリーエッジの裏やサイドにアクリルが流れていないこと ● サイド(ストレスポイント)が適切に覆われ欠けていないこと
アーティフィシャルネイル 後半	<ul style="list-style-type: none"> ● フリーエッジの長さが3mm程度以上でナチュラルネイルとのバランス(フリーエッジの形/長さ)が揃っていること ● ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと ● ネイルチップの裏にグルーやダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと、チップの裏がくすんでいないこと ● ストレスポイントがネイルチップで覆われ、欠けていないこと ● フリーエッジの長さが3mm程度以上でナチュラルネイルとのバランス(フォルム/長さ/厚み/ハイポイントの位置など)が揃っていること ● 厚みが適度で均一であること ● サイド、ストレスポイントが適切に覆われ欠けていないこと ● キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで段差がないこと ● 皮膚を傷つけていないこと ● 表面に凹凸や傷がなく滑らかに磨かれていること ● 気泡が入っていないこと
カラーリング	<ul style="list-style-type: none"> ● エッジの塗り残しがないこと ● キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること ● サイドの塗り残しがないこと ● 表面に色ムラや刷毛あとがないこと ● 皮膚にポリッシュ類がついていないこと

テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
 - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
 - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
 - ・セッティング場所はセッティング例を参照
 - ・時間外にセッティングを行った場合は減点
(セッティング時間外に靴から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行ってください)
 - ・ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行う
 - ・ネイルマシンを使用する場合は、テーブルセッティング時間内に電源を確認する
 - ・フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備し、適宜温度調整を行う
 - ・お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしても良い

ネイルケア(25分)

- ① 手指用消毒液を含ませたコットン(白無地)を用いて、受験者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
 - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② ファイル類(エメリーボード等)を用いて、フリーエッジの長さとしを整える。
 - ・フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さとしは8本をバランスよく揃える
 - ・アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくてよい
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- ④ プッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。
 - ・ネイルマシンのプッシャーまたはメタルプッシャーを使用
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれ、爪の表面、フリーエッジの裏の汚れを除去する。
- ⑥ バッファーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。
 - ・アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくてよい
- ⑦ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

アーティフィシャルネイル前半
(15分)

- ① 右手にネイルチップ1本、スカルプチュア1本のアプリケーションを行う。(施術順は自由)
- 【ネイルチップの手順】
- (1) サンディング(エッチング)し、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
 - (2) ネイルグルーを用いてネイルチップを爪に接着する。
 - ・ネイルチップの色はナチュラルに限る。ウェルの形状は問わないが、爪にあったものを使用する
 - ・ネイルグルーの種類、容器の形状は問わない
 - ・ネイルチップで爪の1/2以上は覆わない
 - ・ネイルチップを加工する場合は試験中に行う(コンタクトエリア、サイドを削るなど)
 - (3) ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてナチュラルネイルに合わせてカットする。ファイル等で整えず終了とする。

【スカルプチュアの手順】

- (1) サンディング(エッチング)し、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
 - (2) ネイルフォームを装着する。
 - (3) アクリルリキッドとアクリルパウダーを用いて、スカルプチュアを形成し、フォームを外す。
(ブランドによりプライマーの使用可)
 - ・スカルプチュアの色はクリアのアクリルパウダーを使用する
 - ・蓋つきのダッペンディッシュの場合は蓋をし、無い場合はペーパータオル等を用いて残ったアクリルリキッドを処理すること
- ② 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

アーティフィシャルネイル後半
(10分)

- ① ネイルチップはファイル類(エメリーボード等)で長さ形を整え、ナチュラルネイルとの段差がないようブレンディングし、表面を滑らかに整える。
- ② スカルプチュアは長さ、形、表面をファイル類(エメリーボード等)またはシャイナーを用いて整え、磨く。
- ③ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

カラーリング
右手パールホワイト5本
左手マット赤5本
(25分)

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバー(爪用消毒液でも可)で拭く。
- ② 爪のエッジと表面にベースコートを塗布する。
- ③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュを塗布する。(1度目)
- ④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュを塗布する。(2度目)
- ⑤ 爪のエッジと表面にトップコートを塗布する。
 - ・皮膚についたポリッシュ類のクリーンは随時行う

審査

実技試験終了

AAA級実技試験

受験対象	ネイルスペシャリストとして高度な技術と知識を習得しサロンワーク、および指導者を目指す方
事前モデルチェック項目	<p>①ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと</p> <p>②フリーエッジが、手のひら側から見て指先(ハイポニキウムを含む)から3mm程度以上あること アーティフィシャルネイルを施す爪は3mm以下で可 試験開始前までに1mm以下に削っておいてもよい ※ネイルケア終了までには1mm以下に削ること</p> <p>④ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること</p> <p>⑤原則としてナチュラルネイルであること *爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可 *ネイルグラー、レジンをういたリペアは本数を限定せずに可、リペアが不適切な場合は減点 *ラップ、アクリル、ジェルを用いたリペアは失格</p>
試験内容	<p>テーブルセッティング 事前モデルチェック → -10分-</p> <p>ネイルケア (両手) → -20分-</p> <p>アーティフィシャルネイル チップオーバーレイ 1本 スカルプチュア 1本 フレンチスカルプチュア 1本 (右手:指の指定なし) → -35分-</p> <p>カラーリング パールホワイト 10本 (両手) → -20分-</p>
試験内容詳細/注意事項	<p>※審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること</p> <p>※実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること</p> <p>※別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること</p>

チェックポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。 ●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。
ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> ●フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと(フリーエッジ裏も含む) ●爪の表面が滑らかで傷などがなく、バッフィングによるダストが残っていないこと ●過度なバッフィングで爪を薄くしていないこと ●キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと ●甘皮が起きていること ●ルーススキンが除去されていること ●ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと ●フリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から(ハイポニキウムを含む)3mm程度以上(アーティフィシャルネイルを施す爪のみ1mm程度以下) ●フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、7本の形は統一すること
アーティフィシャルネイル 前半	<ul style="list-style-type: none"> ●ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと ●ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと ●ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと ●ネイルチップの裏にグラーやアクリル、ダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと、チップの裏がくすんでいないこと ●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にネイルグラーやアクリルがついていないこと ●ストレスポイントがネイルチップで覆われ、欠けていないこと ●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで段差がないこと ●ナチュラルネイルにあったフォルム(形/角度/カーブ)であること ●仕上がりに近い長さで厚みであること ●表面が滑らかであること ●キューティクルや皮膚にアクリルがついていないこと ●フリーエッジの裏やサイドにアクリルが流れていないこと ●サイド(ストレスポイント)が適切に覆われ欠けていないこと
アーティフィシャルネイル 後半	<ul style="list-style-type: none"> ●フリーエッジの長さが3mm程度以上でナチュラルネイルとのバランス(フォルム/長さ/厚み/ハイポイントの位置など)が揃っていること ●厚みが適度で均一であること ●サイド、ストレスポイントが適切に覆われ欠けていないこと ●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで段差がないこと ●皮膚を傷つけていないこと ●表面に凹凸や傷がなく滑らかに磨かれていること ●気泡やダストがないこと ●フレンチラインに色ムラがなく、カーブや深さが爪に合っていて、滑らかで鮮明であること ●クリアとホワイトの幅のバランスが適切であること ●ナチュラルネイルのイエローラインが出ていないこと
カラーリング	<ul style="list-style-type: none"> ●エッジの塗り残しがないこと ●キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること ●サイドの塗り残しがないこと ●表面に色ムラや刷毛あとがないこと ●皮膚にポリッシュ類がついていないこと

テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
 - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
 - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
 - ・セッティング場所はセッティング例を参照
 - ・時間外にセッティングを行った場合は減点
(セッティング時間外に靴から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行ってください)
 - ・ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行う
 - ・ネイルマシンを使用する場合は、テーブルセッティング時間内に電源を確認する
 - ・フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備し、適宜温度調整を行う
 - ・お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしても良い

ネイルケア(20分)

- ① 手指用消毒液を含ませたコットン(白無地)を用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。
 - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② ファイル類(エメリーボード等)を用いて、フリーエッジの長さとしを整える。
 - ・フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さとしは7本をバランスよく揃える
 - ・アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくてよい
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- ④ プッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。
 - ・ネイルマシンのプッシャーまたはメタルプッシャーを使用
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれ、爪の表面、フリーエッジの裏の汚れを除去する。
- ⑥ バッファーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。
 - ・アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくてよい
- ⑦ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

アーティフィシャルネイル前半
(20分)

- ① 右手にチップオーバーレイ1本、スカルプチュア1本・フレンチスカルプチュア1本のアプリケーションを行う。
(施術順は自由)
 - 【チップオーバーレイの手順】
 - (1) サンディング(エッチング)し、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
 - (2) ネイルグルーを用いてネイルチップを爪に接着する。
 - ・ネイルチップの色はナチュラルに限る。ウェルの形状は問わないが、爪にあったものを使用する
 - ・ネイルグルーの種類、容器の形状は問わない
 - ・ネイルチップで爪の1/2以上は覆わない
 - ・ネイルチップを加工する場合は試験中に行う(コンタクトエリア、サイドを削るなど)
 - (3) ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてカットし、ファイル類で先端の形と長さを整える。
 - (4) ネイルチップとナチュラルネイルの段差がないようブレンディングし、表面を滑らかにする。
ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
 - (5) アクリルリキッドとアクリルパウダーを用いてオーバーレイする。(ブランドによりプライマーの使用可)
 - 【スカルプチュア・フレンチスカルプチュアの手順】
 - (1) サンディングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
 - (2) ネイルフォームを装着する。
 - (3) アクリルリキッドとアクリルパウダーを用いて、スカルプチュア・フレンチスカルプチュアを形成し、フォームを外す。(ブランドによりプライマーの使用可)
 - ・スカルプチュアの色はクリア、フレンチスカルプチュアの色はクリアとホワイトの
アクリルパウダーを使用する
 - ・フレンチスカルプチュアのフレンチラインは爪にあったカーブであれば深さは問わない。
クリアとホワイトは3:1~4:1程度のバランスに仕上げる
 - ・蓋つきのダッペンディッシュの場合は蓋をし、無い場合はペーパータオル等を用いて
残ったアクリルリキッドを処理する
- ② 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

審査

アーティフィシャルネイル後半
(15分)

審査

- ① アーティフィシャルネイルの長さ、形、表面をファイル類(エメリーボード等)またはシャイナーを用いて整え、磨く。
- ② 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
 - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

カラーリング/パールホワイト
(20分)

審査

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバー(爪用消毒液でも可)で拭く。
- ② 爪のエッジと表面にベースコートを塗布する。
- ③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュを塗布する。(1度目)
- ④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュを塗布する。(2度目)
- ⑤ 爪のエッジと表面にトップコートを塗布する。
 - ・皮膚についたポリッシュ類のクリーンは随時行う

ネイルスペシャリスト技能検定試験 申込方法と受験までの流れ

個人(一般)でお申し込みの場合

①I-NAIL-Aウェブサイト「<https://i-nail-a.org/>」から
技能検定試験申込フォームに必要事項を入力し送信してください。

(受付完了メールが返信されます。)

②受付期間終了後1週間以内にI-NAIL-A事務局より受験料の支払サイトをメールにて返信いたします。

*受付終了日から10日を過ぎてもメールが届かない場合は、I-NAIL-A事務局までお問い合わせください。

③受験料のお支払い:支払サイトより期日までにお支払いください。

期日までにお支払いが無かった場合は受験できませんので予めご了承ください。

なお、受付終了日から2週間を経過した後のお問い合わせにつきましては、
受験料のお支払いが出来ない場合もあります。この場合受験ができませんのでご注意ください。

④受付完了:試験実施日10日前頃に受験票と当日のご案内を郵送にて送付いたします。

※試験の受付時間、試験会場につきましては、受験票に記載してのご案内となります。

当日のタイムテーブルは、原則として以下となります。

受付

受験票に記載された受付時間内に、モデル同伴で受付を行ってください。

モデルの手に受験番号の記載されたシール等を貼付してください。

AA級、AAA級受験者はアーティフィシャルネイルを施す爪を申告してください。

受付開始時間前の受付および会場への入場はできません。

実技試験

学科試験免除者は実技試験終了後、退室となります。

実技試験終了後、会場内でネイル施術行為はできません。

また、会場近隣の施設(飲食店なども含む)でのネイル施術行為も禁止です。

学科試験

モデルの待機場所はありません。モデルは実技試験終了後、会場から退室となります。

結果送付

検定試験実施日から1ヶ月程度後I-NAIL-A事務局より以下のものが送られます。

可否通知 / 実技試験結果通知(実技試験受験者のみ)の認定証。(認定者のみ)

※用紙タイプ(A4サイズ)※カードタイプ認定証は希望者にのみ発行いたします。(有料)

団体(加盟サロン/スクール)でお申し込みの場合

加盟団体の指示に従って下さい。(送付物は全て団体宛に送付されます。)

●試験日程(受付期間)、検定対策セミナー日程はI-NAIL-Aウェブサイトでご確認下さい。

●試験要項はI-NAIL-AウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。

※PDFファイルをダウンロード(プリントアウト)できない場合は、I-NAIL-A事務局までお問い合わせ下さい。

●参考テキスト「ネイル・プロフェッショナル」「ネイル・プロフェッショナルジェルネイル編」「検定試験対応例題集」は、I-NAIL-Aウェブサイトから購入できます。

●認定証(A4サイズ・用紙タイプ)の再発行、カードタイプ認定証のお申込みは、I-NAIL-Aウェブサイト「検定試験認定証再発行」の申し込みフォームよりお申し込みください。

A級の実技試験免除制度について

I-NAIL-A認定シニアインストラクターより実技試験合格認定を受けた場合は、A級の実技試験が免除となり、学科試験のみの受験でライセンスを取得することができます。

実技試験免除制度についての詳細につきましては、I-NAIL-Aウェブサイトをご参照ください。

*試験内容および可否に関するお問合せは、いかなる場合もお答えできません。

*技能検定試験申込後の申込内容(日程等)の変更、返金はいかなる場合もできません。